



2021 年度  
第 38 号

# 体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

1  
「シム・ソクヒ文字」  
渡した趙ジェボム...  
「法定外復讐」  
問題ないのか



2  
シム・ソクヒ側  
深刻な精神的衝撃で  
苦しんでいる  
2次加害止めてくれ



3  
シム・ソクヒ  
「故意衝突」疑惑、  
個人的な問題ではなく  
国家代表管理の問題だ



4  
シム・ソクヒの  
大韓民国体育賞保留...  
スケート連盟調査後に  
決定



5  
【2021 国政監査】  
スポーツ倫理センターの  
滞留実績、  
原因は貧弱な支援

6  
スポーツ倫理センター  
人権侵害実態調査...  
緊急事例調査に着手



## 01 世界日報 2021.10.17

## 「シム・ソクヒ文字」渡した趙ジェボム... 「法定外復讐」問題ないのか



性的暴行容疑で収監されている趙ジェボム（40）前ショートトラック代表チームコーチが裁判の過程で得たシム・ソクヒ（24・ソウル市役所）の文字メッセージ資料を外部に公開し波紋が広がっている。防御権の次元で得られた被害者の資料を流出すると法的責任を負う事があるという指摘が出ている。

去る13日、国民の力・金スンス議員室によると、大韓スケート競技連盟と大韓体育会は7月と8月にそれぞれ、趙元コーチからシム・ソクヒと2018年の平昌冬季オリンピック代表Aコーチの文字メッセージが添付された陳情書を受けた。この文字メッセージにはシム・ソクヒが代表チーム同僚の崔ミンジョンと金アランを中傷し、平昌オリンピック1000mの試合で崔ミンジョンに故意に衝突した疑惑などが入っていたことが分かった。趙元コーチは選手と関係者の調査や懲戒などの措置を要求した。

## ◆裁判中に得た資料の流出は名誉毀損の適用可能

趙元コーチは裁判中、シム・ソクヒの携帯電話フォレンジック（訳注：分析）の結果から文字メッセージを得たものと伝えられた。

ハ・ジンギョ弁護士（法律事務所ファウンダース）は「被告人は、一部例外的な場合を除けば、防御権の次元で裁判所に提出された被害者の資料を閲覧することができる」とし、「通常、被告人の弁護人が資料を分析し意見書を出して、依頼人に資料を渡す場合は多くない」と述べた。

防御権次元で得た資料を第3者に通知したとき法的責任を負うことがある。ハ弁護士は「裁判の過程での公的資料を流出するなという法があるわけではないが、場合によっては名誉毀損に該当することがある」とし「その資料が偽であれば、虚偽事実摘示名誉毀損罪を適用される」とした。

刑法第307条第1項は「公然と事実を摘示（訳注：要点をかいつまんで示す事）して人の名誉を毀損した者は2年以下の懲役若しくは禁錮又は500万ウォン以下の罰金に処する」と規定し、第2項は「公然と虚偽の事実を摘示して人の名誉を毀損した者は5年以下の懲役、10年以下の資格停止または1000万ウォン以下の罰金」に処するとしている。

## ◆被害者敏感資料の報復用流布？「珍しいケース」

趙元コーチがシム・ソクヒの文字メッセージを公開したように、有罪を宣告された被告人が被害者側の敏感な資料を「報復用」として流布できるのかという懸念も出ている。しかし、法曹界では、今回の事件を例外的な事例と見た。

被告人や被疑者の携帯電話をフォレンジックするのは令状を受けて令状に摘示された範囲内でのみである。一方、被害者は携帯電話を「任意提出」してフォレンジックを受ける。被害者同意手続きを経てこそ捜査機関がフォレンジックを行うことができるということだ。

また、被害者は捜査機関ではなくフォレンジック業者に自費でフォレンジックを依頼して、犯罪容疑を立証するために必要な情報のみを提出しても良い。李ウニ弁護士は「被害者が事件と直接関係のない情報が公開されることを望まない場合は、直接デジタルフォレンジックを進めて必要な部分だけを提出することができる」とし「以後、裁判の過程で被告人側がデジタル証拠の真正性を争えば、その時それについての証明のためにのみ携帯電話を出せば良い」と説明した。

シム・ソクヒ側が事件と関係のない本人の敏感な材料を自発的にすべて渡した可能性は高くないので、当時の捜査機関にフォレンジックを任せたものと思われる。李弁護士は「このような問題が生じると予測するのは難しかった」とし「被害者が携帯電話を任意提出した時には争っていた性的暴行などの容疑に関連して気かけなかったものとみられる」とした。

文字メッセージの内容が伝えられた後、シム・ソクヒの故意衝突疑惑と性格論議がふくらんだが、この論争は趙元コーチの犯罪容疑に影響を与えない見通しだ。趙元コーチは児童・青少年の性保護に関する法律違反などの疑いで裁判に渡され、今年1月1審で懲役10年6月に、先月控訴審で懲役13年を言い渡された。

李弁護士は「(故意の衝突論議は) 趙元コーチの性的暴行などの犯罪容疑とは別に是々非々の判断が必要」とし「これを根拠に性暴行事件と関連して被害者に疑いの目を注ぐのは適切ではない」と述べた。

出典：<http://www.segye.com/newsView/20211015515179?OutUrl=naver>

## 02 毎日経済 2021. 10. 16

### シム・ソクヒ側 「深刻な精神的衝撃で苦しんでいる。2次加害止めてくれ」



最近、同僚選手への見下し論議に包まれたショートトラック代表シム・ソクヒ側が「現在、正常な生活をするのができないほど深刻な精神的衝撃を受けている」とし、2次加害を停止してほしいと要請した。

シム・ソクヒの法律代理人である趙ウニ弁護士は15日、声明文を出して「最近、趙ジェボムの弁護人が被告人の立場で作成した意見書をもとに、被害者のついで報道がなされている」とし「これは、それ自体で性暴行犯罪の処罰などに関する特例法に違反する犯罪行為」だと述べた。

続いて「シム選手は正常な生活をするのができないほど深刻な精神的衝撃を受けている」とし「まだ20代前半に過ぎない性的暴行被害女性が一人で事にあたるレベルではない」と強調した。また「シム選手の2次被害がないように慎重な報道をして欲しい」と頼んだ。

趙元コーチは、2014年から2017年までに約30回にわたってシム選手を性暴行したり、強制わいせつした容疑で2019年起訴された。1審は趙元コーチに懲役10年6ヶ月を宣告した。これに趙元コーチは控訴し、先月懲役13年を宣告された。

最近、いくつかのオンラインコミュニティを中心に趙氏の原審判決文が広がっている。判決文には趙氏がシム選手に向けて脅迫性の文字メッセージと強制わいせつ経緯などが含まれており、2次加害が懸念される状況である。

一方シム・ソクヒは2018平昌オリンピック当時の同僚選手を誹謗するメッセージが公開されたことについて、「未成熟な態度と言動が原因で多くの方々に失望と傷を与えた点に心からお詫び申し上げる」と述べた。しかし女子1000m決勝でチェ・ミンジョンを故意に妨害したという疑惑については「全く事実ではない」と否定した。

出典：<https://www.mk.co.kr/news/society/view/2021/10/980809/>

### 03 天地日報 2021.10.14 金ハクス スポーツコラムニスト、スポーツ学博士 シム・ソクヒ「故意衝突」疑惑、個人的な問題ではなく国家代表管理の問題だ



女子ショートトラックの看板スター シム・ソクヒ（24、ソウル市庁）は、2年前に自分を指導していた代表コーチの性的暴行を告発して「スポーツミートゥー」が野火のようにスポーツ界に広がるのに大きな役割を果たした。シム・ソクヒの勇気ある行動により、慣行のように根付いていた体育界の性暴力や暴力などが顕著に減少する効果があったという。シム・ソクヒの性暴力問題は、個人的な問題を越えて国家代表選手の管理システムと訓練方法を新たに変わるきっかけになったというのだ。

文化体育観光部は2018平昌冬季オリンピックで金メダル2個、銀メダル1個、銅メダル1個を獲得して勇気ある暴露を通じて選手の人権向上に寄与した部分を認めシム・ソクヒを第59回大韓民国体育賞競技賞の受賞者として賞を与える計画だった。しかし、13日平昌冬季五輪の時に故意に衝突しようとしたという疑惑に包まれたシム・ソクヒを今年の大韓民国体育賞受賞者から除外させる決定を下した。

シム・ソクヒの故意衝突疑惑は、彼女に対して3年余りの間、性犯罪を犯した容疑で裁判に渡された趙ジェボム前国家代表コーチ側が法廷に提出した「弁護人の意見書」の内容が、あるマスコミを介して公開されて露見した。先週、あるインターネット媒体によってシム・ソクヒの否定的な姿が報道され、大きな衝撃を与えた。シム・ソクヒが同僚である崔ミンジョンを平昌五輪ショートトラック女子1000m決勝でメダルを取れないように故意に衝突したという報道をして議論を醸している。報道によると、平昌五輪当時シム・ソクヒのメッセンジャートーク内容にはシム・ソクヒが代表チームAコーチと共にチーム同僚の崔ミンジョン、金アランを卑俗な言葉で嘲笑する内容、故意失格を連想させる衝撃的なフレーズが入っていた。趙コーチ側はシム・ソクヒの暗い面を浮上させるために「故意衝突」説を流布したとみられる。

シム・ソクヒ側は「2018年の平昌オリンピック期間にあった未熟な態度と言動により多くの方に失望と傷を与えた点に心からお詫び申し上げます」とし「特に記事に接して衝撃を受けた金アランと崔ミンジョン、コーチ先生たちに心の底から申し訳ないという言葉伝えたい」と、自分の行動に問題があったことを明らかにした。

シム・ソクヒ性暴力と故意衝突波紋を見ると、これまで国家代表管理がどれだけ不十分に構成されてきたかを知ることができる。ショートトラックは韓国が最強国で国家代表選手たちの間でも競争が非常に激しい。選手たちの間でもお互いに勝つために譲歩のないライバル戦をくり広げ、所属学校間の競争も激しい。数十年間の慢性的な問題であった。

ショートトラック代表選手たちの間でライバル意識は個人の問題を超えて、一部選手の社会的逸脱を呼んできた。シム・ソクヒの故意衝突疑惑は個人の問題というより代表管理の不良性を示す代表的な例といえることができる。

シム・ソクヒ波紋は国家代表として国を代表してオリンピックなどの国際大会に出場するという使命感と責任感で目がくらんだ利己的個人的なものとも見ることができる。しかし、このような行動は単に個人的なこととして終わってはならない。

国家代表であっても、すべて模範的な選手であることはない。運動が一番上手で最高の競技力を認められて国家代表に選ばれたが、道徳、倫理、人間性などにおいて個人的に不足していることもある。シム・ソクヒが大韓民国体育賞競技賞を逃したことを残念がるよりも、成績を上げられなかった仲間の代表選手たちと一緒に痛みを共有する感性を持つことがより重要であることを貴重な教訓とすべきである。そのためには代表チームもシム・ソクヒ問題を個人の事としてだけ考えるのではなく代表管理の問題として受け入れ、今後積極的にこのようなことが無いように多くの努力をしなければならない。

出典：<http://www.newscj.com/news/articleView.html?idxno=911367>

## 04 スポーツ朝鮮 2021.10.12

### 文体部「シム・ソクヒ、大韓民国体育賞保留... スケート連盟調査後に決定」



平昌オリンピック「故意衝突」論議に包まれた「ショートトラック国家代表」シム・ソクヒ（24・ソウル市役所）に対する大韓民国体育賞の授賞が保留された。

文化体育観光部（以下、文体部）の関係者は12日、スポーツ朝鮮との通話で「シム・ソクヒ選手に対する大韓民国体育賞競技賞授賞を保留した」と明らかにした。

文体部は15日、第59回大韓民国体育賞授賞式でシム・ソクヒを競技賞受賞者に内定した。先月、民間委員で構成された審査委員会でシム・ソクヒを受賞者に選定した。冬季オリンピックで金メダル2個、銀メダル1個、銅メダル1個を獲得して性的暴行と関連して勇気ある暴露を通じて選手の人権向上に寄与した部分が認められた。しかし、8日芸能メディア「ディスパッチ」が平昌五輪当時シム・ソクヒのメッセージートーク内容を公開して雰囲気が変わった。スポーツ界は衝撃を受けた。このメッセージにはシム・ソクヒが代表チームのコーチと一緒にチーム同僚崔ミンジョン（23・城南市役所）金アラン（26・高陽市庁）を卑俗語で嘲笑する内容が赤裸々に入っていた。また、故意失格を連想させるフレーズも含まれている。シム・ソクヒは11日、所属事務所を通じて「文字内容について同僚に心の傷を与えた事は反省するが、故意反則ではない」という立場を明らかにした。

議論が続く中、文体部関係者は大韓民国体育賞授賞と関連して「今の状況でそのまま授賞することは適切でないので15日の授賞を保留した」と明らかにした。「大韓スケート連盟が調査委員会を作って調査し、事実関係が完全に整理された後、授賞をそのままにするか取り消すかを決定する」と説明した。「当初、授賞候補を選定する際に委員会が単一候補を推薦したので、他の選手の表彰は考慮していない。調査の結果を見守った後、シム・ソクヒ選手にこの賞を与えるのか、どうかを決定する」と明らかにした。

出典：

<https://sports.chosun.com/news/ntype.htm?id=202110130100075840004970&servicedate=20211012>

## 05 イーデイリー 2021.10.12

### 【2021 国政監査】スポーツ倫理センターの滞留実績、本当の原因は貧弱な支援

スポーツ倫理センターの滞留原因は文化体育観光部の不十分な支援だという指摘が出た。

開かれた民主党の金ウイギョム議員が12日、公開した内容によると、スポーツ倫理センターは昨年9月に設立以来、今年6月までの10ヶ月の間に14件に過ぎなかった審議処理完了件数が7月14件、8月21件と急増した。7月一ヶ月はその前の10ヶ月と同じ実績を上げた。

金議員は実績急増の原因を必須人材である弁護士採用にあると見た。金議員は「必須人材である弁護士を4回公告して受験基準を経験5年から1年以上に大幅に下げたことで、かろうじて採用することができた」とし「予算不足で人件費を低く策定していたので受験する人が少なかったもの」と推定した。

金議員は「40人が配置されたスポーツ倫理センターの2021年予算が53億であるのに対し、38人で同規模のドーピング防止委員会は80億で1.5倍以上の差がある」と明らかにし、「予算のために最も基本となる主要人員の採用で問題になったということは、初期設計から不適切だった可能性がある」と疑問を表明した。

実際、金ウイギョム議員室の分析の結果、センターの正規・新入職員の人件費は関連機関である国民体育振興公団、大韓体育会の76%水準にとどまった。

センターの業務環境も劣悪なものとして把握された。狭いスペースに相談室と調査室は縮小された。大会議室は懲戒情報発行業務セキュリティを維持するために専用事務室として使用されていた。小会議室は専門調査委員ワークスペースとして利用していた。

大韓体育会は、地方体育会、大韓障害者体育会、競技団体や運動競技部に所属している選手、指導者、審判と役職員の懲戒に関する情報を管理するための「懲戒情報システム」と「統合報告管理システム」構築のための情報化事業予算もどんぶり勘定策定だという疑惑を受けている。

金議員は「膨大な資料を扱わなければならない情報化事業の来年度予算としてセンターは16億5000万ウォンを要求したが、政府の策定案はせいぜい1億ウォン」だとし「国家人権委員会で進行する情報化事業予算18億ウォンと比較しても納得が行かない金額で、100ウォンを渡してパンに牛乳まで買おうとするものではないか」と指摘した。

また、センターに調査権限だけあって懲戒権がないことも問題として指摘されている。懲戒権がないので、センターが調査を通じて懲戒を要求しても履行が正常に行われず。実際に、これまで懲戒が完了したのは2件に過ぎず、それさえも2件のうち1件は一部収容にとどまった。

金議員は「不十分な支援で基本的な仕事が行われていないので懲戒権と強制力を付与するように改正法案を用意することもためらう」とし、「スポーツ倫理センターが本来の機能を果たすことができるよう支援策を含む対策を用意しなければならない」と強調した。

出典：<https://www.edaily.co.kr/news/read?newsId=01292326629212264&mediaCodeNo=258>

## 06 聯合ニュース 2021.10.13

### スポーツ倫理センター、人権侵害実態調査... 「緊急事例調査に着手」



スポーツ倫理センター（理事長李ウンジョン）は、今年8～9月に、一部首都圏の大学を対象とした「スポーツ人権強化教育と実態調査」の結果を13日発表し、措置が急がれる人権侵害の事例を識別して調査に着手したと明らかにした。

センターは8月18日から9月17日まで韓国体育大学と龍仁大学、慶熙大学校などの格闘技種目（レスリング・ボクシング・すもう・柔道・テコンドー）を保有している首都圏9つの大学のうち6カ所で学生選手423人を対象に教育と人権侵害の実態調査を行った。このうち422人が深層相談に応じたが、「直接人権侵害を経験した」と答えた選手は30人（7.1%）で、20人のうち1～2人の割合で被害事例が現れた。

人権侵害の種類としては暴力が最も多く、私生活統制と嫌がらせ、セクハラなどが続いた。

スポーツ倫理センターは人権侵害の経験を打ち明けた30人のうち11人に専門相談をサポートしており、調査を希望する選手については申告手続きを案内して事件に転換した後、調査に着手したと説明した。

今回の教育と実態調査は国家人権委員会の「柔道選手の人権増進のための政策勧告」に基づいて実施された。実態調査と相談は社会関係網サービス（SNS）を介して1対1で行われた。

団体訓練と寮生活などで電話・外出が制限される運動部の特性と非対面コミュニケーションを好むMZ世代の特徴を考慮したと、スポーツ倫理センターは説明した。

また、新型コロナウイルス感染症（コロナ19）の影響でセンターの支援事業案内や暴力・ハラスメント防止義務教育はオンラインで行われた。

スポーツ倫理センターは「今後対象大学と種目を拡大して全国的にスポーツ人権強化トレーニングと実態調査を推進し、人権侵害や不正に苦しむ体育人を見つけ、心理・情緒相談や調査を支援する計画だ」と明らかにした。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20211013089000007?input=1195m>

## 07 週間スポーツ関連ニュース

文体部傘下のスポーツ倫理センター、合格・脱落あべこべ「とんでもない採用」

<http://news.kmib.co.kr/article/view.asp?arcid=0016351207&code=61111111&cp=nv>

一般の部・大学の部の汗を無にした「第102回高校国体」

<http://www.jjn.co.kr/news/articleView.html?idxno=836564>

「オリンピック放送事故」MBC、国政監査で集中砲火... 「改善措置要求」

<http://www.busan.com/view/busan/view.php?code=2021101420084819990>

「学校運動部の現在と未来」...スポーツ人権フォーラム16日開催

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20211015063500007?input=1195m>

趙ジェボム判決文流出「波紋」...シム・ソクヒ「正常な生活が困難な苦痛」

<http://news.tf.co.kr/read/national/1893757.htm>

シム・ソクヒに「性暴力被害」疑う人々...「2次加害」このまま大丈夫

<https://view.asiae.co.kr/article/2021101418432239552>

露出した「趙ジェボム性暴行」判決文公開...シム・ソクヒ側「2次加害中断を」

<https://news.mt.co.kr/mtview.php?no=2021101513322945242>

誰でもなれるスター...誰でもではないことを願います

<http://www.joongboo.com/news/articleView.html?idxno=363507256>

約3ヶ月ぶりに観客入れることになった屋外スポーツ競技場

[https://newsis.com/view/?id=NISI20211017\\_0018055554](https://newsis.com/view/?id=NISI20211017_0018055554)

## 体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と  
福祉実現のために努力しています。  
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための  
体育市民連帯活動に強固な土台となります。  
体育市民連帯会員として力になろうと  
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

### INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー (資料室) <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>